

食品新技術研究会 第30回例会

食品分野における機械学習：基礎解説と応用事例 ～食品評価や製造最適条件検討で使ってみよう機械学習～

主催：一般社団法人 日本食品工学会 インダストリー委員会

機械学習は、複雑なデータを解析することで新たな関係性を発見し、科学研究において価値ある洞察をもたらす手段として認められています。従来の統計的検定や単回帰分析といった古典的な解析方法に比べて、機械学習アルゴリズムを活用することで、より複雑なデータに対して高い予測精度を実現できる場合があります。

株式会社知能情報システムの宮川様を講師にお招きし、機械学習について平易に解かり易く紹介して頂きます。なお、本会で用いる「機械学習」というワードは、昨今話題となっているAI、生成AI、深層学習といった関連技術を含む広義の意味で用いるものと致します。

講演では、機械学習が従来の解析方法とどのように異なるかを具体的な事例を交えて解説頂き、必要な基礎知識を併せて紹介して頂きます。事例紹介としては、加工食品の品質評価（官能評価と物理量測定値との関係）や製造条件と製品品質の関係などの具体的なデータをベースに解析した事例などを解説頂きます。（何処まで出来て、何が不足しているか？など）

ご講演を聴講された皆様が、食品開発を行っていくうえでの多くの示唆が得られるものと期待しています。なお、本研究会はインダストリー委員会に属しますが、食品工学会会員の皆様にも広く公開しています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

（参加無料、要参加登録）。

○日時：2025年12月19日（金） 15時～17時

○場所：東京大学 先端科学技術センター 3号館中二階セミナー室

<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/access.html>

○参加費：日本食品工学会会員（維持会員、団体会員も含む）無料

○参加登録方法：申込フォーム <https://forms.gle/x7BNMfeAgrBE2Emm6> よりお申込みください。
（フォームを使用されない場合、食品新技術研究会第30回例会幹事古橋宛 t-furuhasi@dream.jp にメールでお申込み下さい。メールタイトル“新技術研究会申込み”，お名前，ご所属，会員番号，交流会への参加有無を記載ください）。

○締切：12月3日（水）

○プログラム：

1. 食品分野における機械学習：基礎知識と応用事例 15：00～16：30

（株式会社 知能情報システム）宮川 弥生

2. 機械学習の活用可能性についてフリーディスカッション 16：30～17：00

講演の質疑応答を含め、ご参加の皆様で意見交換を実施したいと思います

* 研究会終了後、交流会を開催いたします（缶ビール・ソフトドリンク・乾き物）。

参加費 1,000 円（領収書発行）

以上